

白山市立松任図書館

だより



2025年3月号

2025年3月1日発行

編集・発行＝白山市立松任図書館

〒924-0872 白山市古城町305番地

電話(076)274-9877 FAX (076)274-5401

URL <https://www.hakusan-lib.jp>

e-mail library@hakusan-lib.jp

3月の行事予定

★ 1階 展示コーナー

リソカウター前

♪ 読書で世界一周

期間：～3月16日(日)

内容：読書を通じて世界各地の文化・習俗に触れてみませんか。エッセイ他文学作品、料理、民話絵本など幅広く集めて展示しています。



♪ 春からはじめる〇〇

期間：3月21日(金)～5月6日(火・祝)

内容：春からの新生活をテーマに、学生、社会人、趣味などに関する本を集めて展示します。

中央展示

♪ ジャケ読み ～装丁に惹かれて～

期間：～3月13日(木)

内容：ジャケット等の装丁デザインに注目して集めた本を展示しています。



♪ 本のお楽しみパック ～数量限定！～

期間：3月15日(土)～ ※なくなり次第終了

内容：中に本が2冊入った「本のお楽しみパック」を貸し出します。※ひとり1パックまで

対象：ヤングアダルト・大人

♪ 発達障害を知ろう (共催：市発達相談センター)

期間：3月21日(金)～4月8日(火)

内容：4月上旬の発達障害啓発週間に合わせ、関連本を展示します。



北口ミニ展示

♪ 卒業と入学の本

期間：3月1日(土)～3月30日(日)

内容：卒入学をテーマにした絵本や小説、贈る言葉などの本を集めて展示します。

★ 2階 こども図書館

♪ 「ピンク色」の本展

期間：～5月8日(木)

内容：表紙がピンク色の絵本や児童読み物などを集めて展示しています。



♪ 「おはなし会で読まれた本」展

期間：3月1日(土)～5月上旬(予定)

内容：2024年12月までのおはなし会で読まれた本を展示します。



★ おはなし会 (会場：2階おはなしルーム)

♪ 0・1・2歳児向け

3月 5日(水)午前10時30分～ アリス文庫

3月12日(水)午前10時30分～ 図書館職員

☆3月19日(水)午前10時30分～ ハローリトルワールド

3月25日(火)午前10時30分～ 松任おはなしの会

♪ 幼児向け

☆3月 8日(土)午前11時～ ABCの会

3月15日(土)午前11時～ おはなしびわの実

3月22日(土)午前11時～ 松任おはなしの会

☆外国語のおはなし会



★ ボランティアデー

日時：3月4日(火)、15日(土)

午前9時～10時

場所：1階 ロビー

内容：返却資料の配架と書架整理



★ ブックスタート

* 4か月児健診のお子さんと保護者

会場：健康センター松任

内容：親子がふれあうかけがえのないひとときを「絵本」を介して持ってもらうため、絵本入りバッグをお贈りします。





展示コーナーから ほんのおすすめ

車のいろは空のいろ [2] 春のお客さん

あまん きみこ//作 黒井 健//絵 ポプラ社

J913 ア

松井さんは空いろのタクシーの運転手さん。今日もお客さんをのせて走ります。春の林のお母さんと五つ子きょうだいたち、てんき雨のお嫁さん、白いワンピースの女の子…。ふしぎなお客さんをのせて朝も昼も真夜中も、思い出の道から空の町までどこまでも走ります。空いろのタクシーを舞台にした、心あたたまる7つのファンタジーです。



春のスペシャルおはなし会 おはなしの会 トウインクルさんの 「トウインクルシアター」

日時：3月16日（日）

午前11時～11時40分

会場：松任図書館2階 おはなしルーム

内容：パネルシアター、エプロンシアター、
パペットシアター、手遊び など

対象：幼児とその保護者（定員20名程度）

※申込不要・当日先着順

「松任図書館だより」は白山市立図書館
ホームページ上でもご覧いただけます。

1階 展示コーナー

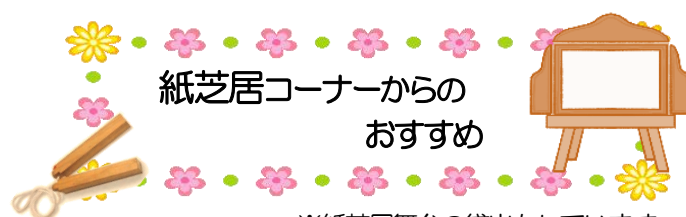
「春からはじめる〇〇」より

どんなに苦手でもうまくいく電話応対

北條 久美子//監修 新星出版社

336.49 ド

電話をかけるのも受け取るのも苦手と思っている人は少なくありません。もし相手が不在だったら？クレームの電話がきたら？アポイントの取り方は？この本は、そんなお悩みをわかりやすく絵を使って解説してくれます。これであなたも電話応対はうまくいきます！



紙芝居コーナーからの おすすめ

※紙芝居舞台の貸出もしています。

「おーい、はるだよー」（8場面）

千世 まゆ子//脚本 山本 祐司//絵 童心社 Cオ

ちいさなおやまに、ちいさなくま。となりのちゅうくらいのおやまにはちゅうくらいのくま。さらにとなりのおおきなおやまにはおおきなくまがすんでいます。くまたちはふゆのあいだ、みんなねていました。あるひ、ほかほかとひがさして、はじめにちいさなくまがめをさします。ちいさなくまは、「あー」と、おやまのてっぺんでのびをして、となりのおやまへ「おーい、はるだよー」と、てをふりながらよびかけます。そして…。まちにまったはるかやってくるようすをいきいきとえがいています。

「つんつんや」（8場面）

小林 ひろみ//脚本・絵 童心社 Cツ

あるとき、ことりが「つんつんや」さんをはじめます。つんつんやとは、ことりがくちばしで、かゆいところをつんつんしてなおしてあげるおみせです。さっそくやってきたのは、おおきなぞうさん。ことりはつんつんとなおしてあげました。おつぎはわにさん。ことりさんは、おっかなびっくりしながらも、みごとになおします。そのつぎには、はりねずみさんがやってきて…。ことりのつんつんで、みんなすっきりいいおしか。ことりもだいまんぞく。こちよさがつたわるおはなしです。